令和４年度
生徒会スローガン
Nothing is impossible
～ 不可能を超えろ ～

荒高かわら版

山形県立荒砥高等学校
広 報 紙　第 33 号
令和４年４月１８日発行

第74回　入学式

令和４年４月８日（金）荒砥高校第74回入学式が行われ、新入生が入学しました。

地主佳子校長が式辞の中で、「本校の校訓は、「克己復禮」です。「己に克ちて禮に復す」と読みます。「克己」とは、自分自身の身勝手で弱い心に打ち克つことを意味します。また「復禮」とは、礼節を守り社会のルールに沿った行いをすることを意味します。しっかりと心にとどめ、これからの高校生活において、行動の指針としてください。

高校生活を始めるにあたって、意識してほしいことを二つお話します。一つは、「チャレンジする心を持ち続けてほしい」ということです。チャレンジには失敗がつきものですが、めげずに何度でも向かっていく気持ちを持ち続けてください。二つ目は「出会いを大切にしてほしい」ということです。人間関係の結び方を学び、互いを温かく受け止め、相手の気持ちを慮る感受性と、自分を律する強さを身につけ、他者と協働する大人に成長してほしいと願います。」と期待を述べられました。

白鷹町長の佐藤誠七様からは、「荒砥高校の校訓 克己復禮 の精神のもと、勉学に励み、教養を高め、さらに、先輩が築いてきたよき伝統の維持・継承に努め、さらなる校風・文化の樹立に向けて邁進してください。」と激励のお言葉をいただきました。

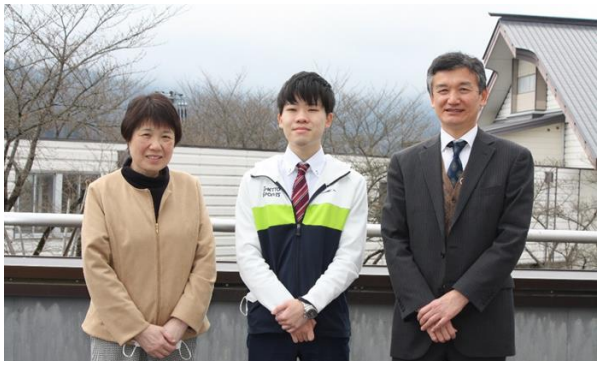
ＰＴＡ会長の横山歩御様からは、本校を取り囲む見事な桜の植樹の経緯に触れられ、「三年後の卒業式の晴れの舞台でマスクを外し、たくさんの皆様に祝福をされ満開の笑顔の花が咲くことを期待します。」とお祝いの言葉をいただきました。

続いて在校生を代表して、生徒会長の遠藤蓮華さんから「全年次１クラスとなり、様々なことが今まで通りとはいきませんが、新たな荒砥高校を作っていくのは私たちです。新入生の力も加え、先輩方が築いてきた伝統を引き継ぎながら、新たな荒砥高校を共に作っていきましょう。」と歓迎の言葉がありました。

新入生代表の齋藤あみさんからは「高校生活の中で、時に迷うことや苦しい時があるかもしれませんが、友と協力し、助け合いながら乗り越え、荒砥高校の生徒として恥じない生活を送っていきたいと思います。」と決意を堂々と述べました。

一年次担任団紹介

	氏　　名	教　科	分　掌	部　活　動
主　　任	鈴木　祥子	家庭・福祉	生徒保健課	総合文化部囲碁
１組担任	齊藤　凌	数学	教務課	テニス
副 担 任	髙橋　祐一	数学	教務課	テニス



Nothing is impossible

2022(令和４)年度 荒高生徒会スローガン ～不可能を超えろ～

４月１１日（月）の午後には、生徒会・部活動ガイダンスが行われました。まずは、生徒会長からの生徒会入会歓迎の言葉がありました。その後、今年度のスローガンの説明、生徒会組織の説明を行いました。本校は小規模校ではありますが、生徒会活動が非常に活発です。新入生の入会により、今後の活動が楽しみです。

続いて部活動紹介が行われました。寸劇風の紹介、ユーモアたっぷりの紹介、実演を含んだ紹介等、各部ともに工夫を凝らしたもので、おおいに盛り上がりました。少人数の部活動が多いですが、荒高生は部活動への満足度も高い学校です。